

まわる まわる

通信



安倍晋三

元内閣総理大臣

追悼号

7・8月号
vol.65



日本にとっても 世界にとっても 大きな損失

た。その最悪の予感は、ほどなく現実のものとなってしまった。本号は、山本の安倍元総理との思い出を振り返りつつ、哀悼の誠を捧げ、追悼号とする。

参院選、真っただ中の7月8日、

安倍晋三元内閣総理大臣が、遊説

大変だろうけど、相手が強ければ強いほどやり甲斐もあるから頑張って！」と声を掛けられたそうだ。その後、郵政解散があり、山本は初当選を果たし、政治家としての第一歩を踏み出した。

2006年には、安倍代議士が自民党総裁選挙に出馬することになつた。普通、当選1期目の若手は、そのような大舞台に立つ候補者となかなか触れ合う機会がな

停止状態で緊急搬送中、と一報が入つた時、山本はひょっとすると助からないのではないかと思い、人目をばかからず泣き出していく

衆議院選挙の自民党公認候補となる選挙区支部長(京都22区)に就任

政治家への道を 開いた安倍幹事長

2005年、山本は事実上、次期衆議院選挙の自民党公認候補となる選挙区支部長(京都22区)に就任

した。その選考方法が、安倍元総理が幹事長時代に初めて自民党に導入した公募制度だった。その制度導入がなければ、今の山本は居なかつたかもしれない。公募に合格した無名の新人山本だが、他党の強敵、前原誠司氏と闘うと言うこともあり、すぐに安倍代議士の知るところになつた。自民党本部に赴いた際には、安倍代議士から

「山本さんの選挙区は強敵がいて大変だろうけど、相手が強ければ強いほどやり甲斐もあるから頑張って！」と声を掛けられたそうだ。その後、郵政解散があり、山本は初当選を果たし、政治家としての第一歩を踏み出した。

かつたが、当時52歳であつた安倍候補は比較的歳が近いと言つこともあり、山本を含む党内の若手とも熱心に政策論議をし、当選に向けた機運を盛り上げた。結果、麻生候補と谷垣候補を大差で破り、総裁に選出され、戦後最少少、戦後生まれとして初の内閣総理大臣に就任した。

2007年、山本も教育基本法特別委員会の委員として携わった教育基本法改正や防衛庁の省への昇格など、安倍内閣は長年の懸案事項を成し遂げたものの同年夏の参院選の大敗や持病の悪化など様々な要因が重なり、安倍総理は突然退陣を表明した。当日、本会議前の代議士会に出席していた山本は、突如「総理が辞めるそうだ！」と聞き、茫然としたことを今も鮮明に覚えているそうだ。その後、福田内閣、麻生内閣と一年

毎に内閣が変わり、いわゆる政権交代選挙があり、山本も多く仲間とともに議席を失い、自民党は約3年半の野党時代を過ごすこととなる。

2012年、自民党に転機が訪れた。いや、安倍代議士が起こしたと言つていいだろう。体調が回復し、再び、党総裁選挙に名乗りを上げ総裁に選出され、同年、安倍総裁の下で闘つた衆院選で自民党は圧勝し、政権与党に返り咲いた。山本も約3年半の厳しい浪人生活や選挙区を神奈川4区へと変える「国替え」を強いられるなどの糺余曲折を経たが、安倍総裁の強力なリーダーシップにより2期目の当選を果たし、国政に復帰することが出来た。

安倍内閣において 初めて政務二役に

2014年、第一次安倍改造内閣の発足に伴い、山本は初めて政務三役(大臣・副大臣・大臣政務官)である「文部科学大臣政務官」と「復興大臣政務官」に任命され、安倍内閣の一員となつた。同年末に解散総選挙があり、3期目の当選を果たし、第二次安倍内閣でも文科・復興の両政務官に再任され、引き続き安倍内閣の一翼を担つた。2015年にはオリンピック・パラリンピック担当大臣が新設され、その補佐のための初代オリパラ担当大臣政務官(内閣府大臣政務官)にも任命され、1年1ヶ月、3つの政務官を兼務した。

2016年、第二次安倍第三次改組内閣では、山本は初めて認証官(大臣・副大臣など天皇陛下から認証を受ける職)である「防衛副大臣」と「内閣府副大臣」に任命

された。今上陛下から官記を拝受する認証式のため皇居に参内し、控室で安倍総理と他の副大臣達と待つて居る時、山本が「今上陛下から官記を頂けるのは本当に光栄なことだなあ」と言うと他の副大臣が「陛下からは貰えないでしょ?」と笑い出した。そこで山本は「じゃあ、誰から貰うの?」と聞くと全員答えに窮り、「分からない…」と言い出した。山本は安倍総理に「誰から官記を受け取るのですか?」と聞くと「実はね…。私からなんだよ」と答えて、全員「え? そうなんですか?」と驚いた。すかさず山本が「では、総理は誰から官記を貰うのですか?」と。すると安倍総理は、不敵な笑みを浮かべ「山本さん、いいところに気が付いたね。実は、それはね…。」と詳細を教えてくれたそうだ。同年に解散総選挙があり、4期目の当選を果た

し、第四次安倍内閣でも防衛・内閣の両副大臣に再任され、引き続き安倍内閣の一翼を担い1年2ヶ月、両副大臣を務めた。

2019年、第4次安倍再改造内閣の発足に伴い、再び、防衛副大臣と内閣府副大臣に任命され、かくして三度、安倍内閣の一員となつた。結果、政務官と副大臣、合計3年3カ月、安倍内閣の一員として職責を果たした。政治家としての第一歩、政務三役の職責、その全てが安倍代議士とともにあつた。

昭恵夫人の心配りに 笑顔の安倍元総理

東日本大震災後の巨大防潮堤の建設問題や地元葉山町の養蜂問題など色々な課題について山本は安倍

と交流があつた※1。そのため昭恵夫人が、プライベートで山本の地元を訪問する際でも、事前に「〇月〇日、山本さんのご地元の鎌倉にお邪魔します」などと連絡があつたそうだ。その丁寧な心配りに驚いた山本は、安倍総理にそのことを伝えると笑顔で「そりや、鎌倉は山本さんの領地だからネ」と安倍総理らしい一流的のジョークで答えたそうだ。

ある晩、仲間の議員とともに総理



▲昭恵夫人が養蜂して作った
夫人手製の蜂蜜を頂く山本

公邸^{※2}に呼ばれた山本は、安倍総理を中心にお酒を酌み交わし他愛もない談笑をしていました。少し会話が途切れた時に山本が「公邸に幽霊が出るという噂がありますが、実際どうですか?」と尋ねた。安倍総理は「実はね…。」と公邸での日常について話をしてくれたそうだ。



▲官邸で葉山牛を頬張る安倍総理(当時)

安倍総理の演説は、固い政策の話だけでなく、ウイットに富んだ演説が持ち味であったが、JR鎌倉駅前での山本の選挙応援演説中には、「山本さんから地元葉山町の有名な葉山牛をじ馳走になつていな」い」と言い、多くの聴衆から大きな笑いが起きた。公然と葉山牛を貰つていないと言われた山本は、選挙後に大量の葉山牛を地元の方々と一緒に総理官邸に持参した。特定のブランド牛を総理が食するというのは、そのブランドを推奨しているとの誤解を招きかねず、今までなかつたことだが、マイクを通じて総理が発言したことを見に、山本は官邸を説得し実現にこぎつけた。ローストビーフなどを食した安倍総理は「ジュー・シード」など満面の笑みだった。今回も「病院食も意外とジュー・シードだったよ」と笑い話になることを山本は願っていたが、その願

いは叶えられなかつた。

いつも気さくで明るい安倍元総理



▲世界スカウトジャンボリー開会式で談笑する安倍総理と山本

山本が幼少の頃から今も続いているボーカルスカウトでは、世界スカウトジャンボリーが2015年に山口県で開催され、開会式に皇太子殿下(現天皇陛下)と安倍総理が出席され、青少年の健全育成政策を文科政務官として担つていた山本は、殿下と総理をお出迎えし、開会式に同席をした。その時、安



▲山本からきびだんごを笑顔で受け取る安倍元総理

安倍総理が皇太子殿下に「実は、彼（山本）は、富士スカウトなんですよ」※3と紹介し、驚いた殿下が山本に声を掛け、スカウト談議に花が咲いた。通常、こちらから殿下には話しかけず、もし話しかけられればお答えするという暗黙のルールがあり、安倍総理の一言によつて殿下と話すことが出来たと山本は喜んでいた。

回復し公務に復帰された安倍元総理にも届けて欲しいとの要望があり、山本が頼んだところ二つ返事で応じたのが、気さくな安倍元総理だった。

届き、あの人渡して欲しい、あの人にも渡したらどうか、と要望が多数寄せられた。再び持病が悪化し、安倍總理が退陣を決断し、党總裁選挙が行われた時には、菅候補(当時)にもきびだんごを渡したことわざがあった。その後、体調が

安倍元総理の気さくな人柄を表す逸話は沢山あるが、山本が防衛副大臣の際に、出張のお土産に河野防衛大臣にきびだんごを渡し、部下が上司にきびだんごを渡すと、いう主従逆転の奇妙な光景としてSNSで話題になつた。結果、全

字路を行き交う車が見え、安倍元総理が「実は、あの時はね…」と舞台裏の話をいつものように冗談を交えて話していく。山本は、何かがおかしい、変だ、と違和感を抱きながらもせっかくの機会だからと楽しく話をしていたら、目が覚めて、山本の顔は涙でぐちよぐちよだつた。それが、安倍元総理が凶弾に斃れられた翌朝のことであつた。山本は、現実が夢だった良かつたのにと再び声を出して泣いたそうだ。山本は安倍元総理の遺志を継ぎ、保守本流の道を全うすることを誓っている。

合掌

※1 山本のHPに掲載されているぱれぱれ
通信29号、30号参照。

※2 総理が執務をする「官邸」に対して、総理の日常生活を行う住まいを「公

※3ボーカリストの高校生年代で最高位の富士賞を取得したスカウトのこと。

第26回参議院議員選挙 結果報告

神奈川県選挙区選挙 結果報告

	候補者名	順位	政党名	得票数
🌹	三原 じゅん子	1	自由民主党	807,300
🌹	松沢 しげふみ	2	日本維新の会	605,248
🌹	三浦 のぶひろ	3	公明党	547,028
🌹	あさお 慶一郎	4	自由民主党	544,597
🌹	水野 もとこ	5	立憲民主党	394,303
	あさか 由香	6	日本共産党	354,456
	深作 ヘスス	7	国民民主党	253,234
		:		

有権者 7,696,783人 投票率 54.51%



今回は、定数4人のところ補欠選挙(1名)が加わり、5人が当選となるが、5位当選の者は補欠の残余期間、つまり当選しても参議院議員としての通常の6年の任期では無く3年の任期しかないと言う変則選挙であり、且つ自民党としては24年ぶりの2名を公認候補として戦うと言うこれまた通常とは違う選挙になり、極めて複雑な選挙となった。因みに、24年前は、2名の自民党公認候補は両者ともに落選するという厳しい結果であった。その苦い経験を乗り越えて、なお2名の当選を目指し一丸となって戦った結果、多くの皆様から負託を頂き、三原じゅん子、あさお慶一郎両候補が当選することが出来た。加えて、連立与党である友党公明党の三浦のぶひろ候補も当選し、与党で定数4人の過半数を獲得することが出来た。引き続き、政治の安定を図り、公約実現に向けて邁進する。

※公職選挙法に基づき、当選のお礼を明記することは出来ません。

山本ともひろプロフィール

経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒塾(21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成30年 自民党 国防部会長 就任
- 令和元年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 令和3年 自民党 文部科学部会長 就任

自由民主党
衆議院議員(5期 13年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)
昭和50年(1975年)生まれ
47歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

国会見学案内実施中!

国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった!」と大人気の見学ツアーは無料で行っています。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。

ぽれぽれ通信って何?



「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



山本ともひろ事務所リスト

本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F

TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室

TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

令和4年(2022年)7月11日発行 第65号

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。